## シロヤマゼンマイ

Osmunda banksiifolia (Pr.) Kuhn

選定理由 静岡県以西の暖地に分布する常緑性の大型シダ植物。本県での生育地 は非常に少なく,砂防ダム建設などによる生育環境の悪化で個体数も

激減しており,絶滅の危機に瀕している。

県内分布 │ 別府湾沿岸域,豊後水道域

ゼンマイ科 Osmundaceae

分布 域 本州(静岡・和歌山),四国南部,九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖

アジアの埶帯・亜埶帯

カテゴリー

生育環境 | 低地の渓流近くの湿った崖地。

大分県 IA 環境庁 掲載なし

現 状 ┃ 生育地では個体数が激減している。新たに判明した生育地もあるが個

体数は少なく,幼個体もみられない。

備 考 | 国定公園指定植物 [日豊海岸]

## カネコシダ

Gleichenia laevissima Christ

選定理由 九州固有のシダ植物で,東九州では大分県のみに分布する。砂防ダム

の建設や風水害などにより生育地がかく乱され、絶滅の危険性が極め

て高い。

県内分布 耶馬渓地区

ウラジロ科 Gleicheniaceae

分 布 域 九州(佐賀·長崎·熊本·大分·鹿児島)

朝鮮半島,中国,インドシナ,フィリピン

生育環境 | 丘陵地の日当たりの良い斜面。

## カテゴリー

大分県 IA 環境庁 IB 現

生育面積や個体数が半減し,生育状況も極めて悪化している。

備

選定理由

国定公園指定植物 [ 耶馬日田英彦山 ]

## コケシノブ

Hymenophyllum wrightii van den Bosch

温帯性のシダ植物で,九州では山地に希に分布する。本県での生育地 も比較的標高の高い山地に限られ,自然林の伐採などにより生育環境

の悪化が懸念される。

コケシノブ科

県内分布

英彦山・犬ヶ岳山地, 由布・鶴見火山群, 九重火山群, 祖母・傾山地,

北川上流域

Hymenophyllaceae

分布 域

北海道,本州,四国,九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)

朝鮮半島南部,アムール,千島,樺太,カナダ

カテゴリー

生育環境 山地林内の樹幹や岩上に着生。コケ植物と混生する。

大分県

環境庁 掲載なし

現 状 | 自然林の減少で,生育環境の悪化が目立つ生育地が増えている。